

What?

Why?



所長 山本の

ワイズリレーインタビュー

第31回 創作人形作家 海野一枝さんに聞きました!

主婦のプロから人形作家、そして“運動会の海野さん”!? 人間力の魅力

Q どんなことをされているかを教えてください。

海野 一般的には創作人形作家です。他には、お花を旅館に生けに行ったり、運動会をやったりしています。

Q 「運動会」とは一体!?

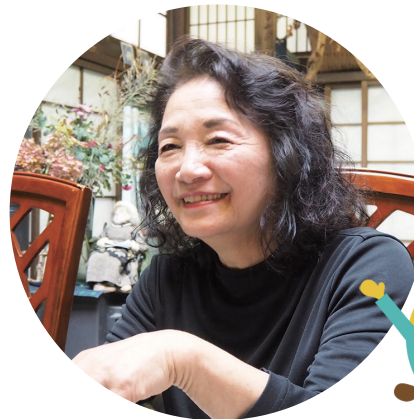
海野 秋田と岩手に対決する大人の運動会です。毎年7月の第1土曜日と決まっていて、来年で10回目を迎えます。場所は、雫石町と仙北市で交互に開いています。出場者は、だいたい50人ずつ集まります。お人形はどこにいったのという感じですが、運動会の方が面白くなっちゃって、1年中、その宣伝をしています。

Q 例えばどんな競技があるんですか?

海野 下は3歳から上は80歳台なので、運動会なのに、走らない、飛ばない、転ばないといった条件があるんです。方言で何を言っているのか考えたり、借り物競走だったり、お化けに変装しちゃうお化け競争だったり……。仙北市の市長さんと雫石町の町長さんの対決もあって、ホラを吹いてもらうんです。自慢大会ですが、毎年面白いホラを準備して参加させています。勝ち負けもちゃんとあって、計算しやすいように一等は1点という決まりです。最初はみんなピンとこないのですが、多い方が負けなんです。今年は借り物競走で、岩手の人が「はい!はい!はい!」とすぐに手を上げて秋田に協力しちゃうものだから、岩手が負けてしまいました。

Q なんだか面白いですね。

海野 とにかく笑い声がたくさんで、本当に面白いんです! 入場行進も団長さんの意気込みも笑っちゃうんです。私は裏方で走り回っていますが、運動会の後にある学芸会のダンスだけは毎年出しています。出し物が面白くて、最高に盛り上がります。私の生徒さんも、お人形を作りたくて来たのに、当日のご飯を作ったり、ダンスの練習をしたり、運動会がつきものになっています。参加費は2,000円ですが、企業さんから協賛を集めています。準備が結構大変で、持ち出しはないようにしたいので、ゼッケンは鶴の湯さんのシーツを再利用したり、



「鶴の湯の佐藤さんには随分勉強させてもらいました。自分だけのことじゃなくて、人のために動いていると最後は自分に回ってくると、生き方を見ていて教わりました」。



景品は福祉バンクを活用したり、色々工夫しています。会場の県はお昼に郷土料理を使っておもてなしもしています。もうやめようかな~と思うのですが、みんなの笑い声を聞くとやめられなくて。歳だから外に出ないじゃなくて、歳だからこそみんなで歳をとっていけば怖くない。そういう気持ちです。

Q 運動会を始めたきっかけを教えてください。

海野 田沢湖に「思い出の渦分校」という素敵な場所があるのですが、ここは廃校になった建物を鶴の湯の佐藤さんが直して平成16年から一般公開されるようになりました。15年くらい前に管理していた方から個展のお声がけをいただいて、場所を見に行ったら、すごくいいところで、ここであんべ光俊さんの「ウレイラの森」と聞きたいと思いました。ただ、先立つものがなくて、佐藤さんにご挨拶する時に「一生懸命チケットを売ります。もし失敗したら、ここで茶碗を洗います」と言って初対面なのに直談判しました。びっくりされたと思いますがOKをいただいて、絶対成功させようという一心で当日は260人くらいの方が来てくれました。人形展よりもそっちの方が嬉しくなるくらいで、その後2回くらいコンサートを企画しましたが、チケットを売るのも大変なので、別の方法でみんなが楽しむことをやろうとなった時に運動会を思いついたんです。

Q お人形があつての運動会だったんですね。

海野 お人形のおかげです。もともと「大草原の小さな家」



工房「一会」主宰 創作人形作家

海野 一枝 (うんの・かずえ)

昭和30年代の思い出を中心に、見る人の心にずっと溶け込むようなお人形を制作。個展中に企画したあんべ光俊さんのコンサートが発展し、岩手と秋田対抗の運動会を企画し、来年で10回目を迎える。宮城県出身。69歳。

工房の一角で。終始、笑いが絶えないインタビューになりました。(運動会は翌日お腹が筋肉痛になるほど、大笑いします!)



有限会社鶴の湯温泉 代表取締役会長 佐藤 和志 さんからのご紹介

のお母さんに憧れて、外で働かないのであれば主婦のプロになろうと思ったんです。子どもたちには手作りの物を与えようと思って、編み物や縫い物をしているうちにお人形も作ってみました。ある日、そのお人形を見た人から「盛岡にできた手作りのお店に出してみない?」と声をかけてもらって、出した当日に売れたんです。私が30代の時でした。それからテレビや雑誌にも取り上げてもらって、40歳前にテレビ岩手アカデミーで講師をさせてもらいました。10年以上続けましたが、自分の工房をつくったこともあって、生徒さんを連れて独立させてもらいました。

Q 工房はどちらにあったんですか?

海野 最初は本町通にある「ぼらーの」というお蕎麦屋さんの2階を貸してもらって始めました。その後、下ノ橋教会の川沿いに空き家になっていた元旅館に移りました。素敵な建物だったので、大家さんに毎日のようにお願いしたら、諦めて貸してくれました。場所もよかったので、3年くらいするとヘトヘトになるくらい1日にたくさんの方が来てくれました。ただ、賑やかになりすぎてしまって、出て行くように言われてしまったのです。みんなからは残るようにアドバイスされましたが、私とすれば100人が喜んで、1人の人を悲しませるのなら、お人形を作って人を喜ばせる意味がないと思って出て行くことを決めました。“中央進出”が結局3年で負け犬です。でも、人って悪いところを見せると、そこだけが目に浮かんで、お人形も私自身のイメージも、全部悪い印象になってしまうので、人には弱音を吐かずに次の場所を探しました。それで見つけた場所が、雫石町にある床も抜けているような空き家でした。真冬でしたが、何度も雫石と盛岡を往復して、ペンキ塗りなど自分で改修できるところはしました。リュックを背負ったまま、ストーブの前で寝ていたこともありましたね。絶対人には辛いところは見せないと決めていましたが、生徒さんが遊びに来たという感じで手伝ってくれてありがたかったです。なんとかその春にはオープンできて、お人形のおかげでたくさんの人に助けってもらって、主婦では出会えなかったような人たちに会えることができました。個展の時は着物姿のせいか「お料理はさ

れるんですか?」と聞かれたりしますが、一見、能天気に行っているようでも水鳥と一緒に水の中で必死に漕いでいるようなタイプですね。40代の頃は「私ってなんだろ」と格闘していましたが、50代で余裕ができて受け入れられるようになりました。ムキになっちゃうのは、自分に自信がないからなんだなど。それと、一番嫌なのは「忙しい?」と聞かれて、「はい、忙しいです」と答えることで、大丈夫じゃないのに「大丈夫」とか、暇じゃないのに「暇で一す」と言ってしまうんです。

Q 忙しいとは言わないんですか?

海野 一度人に言われたことがあって、「海野さんのいいところは、忙しい人と分かっているのに忙しいと言わないところ」だと。「忙しいと言われると相手が申し訳なく思っちゃうし、忙しい人が大丈夫と言って時間をとってくれると嬉しいし、安心する」と。その時に「ああ、忙しいことは言わなくても目に見えているものなんだ」と気づいて、自分で「忙しい」は言わないようにしようと言いつけさせるようになりました。

Q 今後の目標を教えてください。

海野 お人形はここ2、3年休んでいたもので、また再開して個展を開くことです。個展となると小物も入れると何百という数を作ります。前は常に追われている気がして精神的に疲れてしまいましたが、おかげさまで力を蓄えられたので、来年は東京と盛岡で2回は開きたいと考えています。ギャラリーの下見など動き出しているところです。

Q 最後に好きなタイプの芸能人を教えてください!

海野 リチャード・ギアかな。甘いマスクで、それこそ気持ちに余裕がありそう、かな。

◎ 本日はお忙しいところありがとうございました。

工房「一会」

盛岡市松尾町 1-13

☎ 019-623-5538



表情や仕草が自然で、愛おしいお人形たち。